

当面する諸案件を報告

大網白里市議会第4回定例会 市長事務報告

11月26日から12月16日まで、市議会第4回定例会が開催されました。開会日に、市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策

県内の病床状況の改善を受け、大網病院のコロナ病床も10月20日をもって閉鎖することが決定され、コロナ病床2床とその開設のため休床していた9つの病床、計11床を翌日から通常運営に切り替えました。

イベント等の開催についても、今後は十分な感染防止対策を図った上で、徐々に再開してまいります。

市内における12歳以上のワクチン接種率は、11月25日現在で83.8%に達しており、ほぼ希望者へ行き渡ったと考えられることから、集団接種は12月4日をもっていったん終了し、以降は大網病院や市内医療機関での個別接種にて対応していくこととしました。



▲昨年の集団接種の様子

体制を構築できるよう、必要な経費を12月補正予算案に計上しました。

財政

令和3年度の財政状況ですが、税収は、予算額を確保できているものの前年度実績は下回る見通しであり、歳出面においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も医療・福祉に関する経費の増加が見込まれる上、大網病院の収益回復も見通せず、非常に厳しい状況です。

こうした中、9月補正予算で増額計上したふるさと納税は、その後も順調に推移しており、10月末時点での収入額は4億2,900万円に達するなど、想定を大幅に超える増加が続いていることから、12月補正予算案に事務委託料等に係る所要額を計上しました。引き続き、市税をはじめとした歳入の一層の確保や経費の節減に努めるとともに、ふるさと納税についても、さらなる増収に向け、返礼品の拡充や寄付者との後続的なつながりなどに取り組み、自主財源の確保に努めます。

令和4年度は、第6次総合計画の2年目として、各種施策を円滑に推進することが求められています。人口減少や高齢化に加え、長引くコロナ禍の影響により、基幹財源である市税収入の伸び悩みが懸念される中、社会保障関係費や公債費等の義務的経費の増加傾向が続く、加えて今後、学校教育施設等の維持・改修費用の増加も懸念されることから、依然として厳しい財政状況が続くと想定されます。

このため、令和4年度予算編成は、全庁一丸となつて歳入・歳出にわたる徹底した見直しを実施するとともに、市の未来を見据えながら、すべての事務事業について、優先度、緊急性、費用対効果などを考慮した再検証に取り組み、持続可能な財政運営を目指します。

民間事業者との連携を図ることで、万一の災害発生時にも実効性のある対応を図ることができるよう各種協定の締結を進めており、10月5日、車中泊避難や応急活動拠点などの利用を目的に、NPO法人コメリ災害対策センターと「店舗駐車場利用の協力に関する協定」を締結しました。

また、株式会社ベイシアとも、災害時における店舗駐車場の多目的利用について協議し、合意に至りました。今後も、災害対応力の向上に向け、行政と民間事業者との連携強化に努めます。

本年度予定していた九都県市合同防災訓練は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、物資輸送訓練のみ実施しました。11月1日に行われた訓練では、市の要請に基づき行われる「プル型」支援と、市の要請を待たずに行われる「プッシュ型」支援の双方の支援形態を想定しながら、支援システムを用いて物資の搬出や収受などの手順を確認しました。今回見送られた全体訓練については、来年度の実施に向け、あらためて千葉県と協議してまいります。そのほか、九都県市合同防災訓練内で予定していた津波避難訓練は、年度内に実施できるよう調整を図ります。

令和元年10月25日の大雨により、大きな浸水被害が発生した大網駅周辺は、千葉県において小中川の改修計画の検討が進められており、大網駅から上流部の改修工事が着手されました。来年度以降も県と連携を図り、改修工事が完了するよう努めます。

防災

地域活性化、災害対策、子育て支援、スポーツ・文化の振興など、多岐にわたる分野で協力、連携して取り組めるよう、本年3月にコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と「地域活性化包括連携協定」を締結しました。この協定に基づく「公民連携事業」の一環として、小中池公園に大型遊具が整備され、11月1日には、関係者と地元の子どもの参加のもと、竣工式を行いました。今回の大型遊具の整備により小中池公園に新たな魅力が加わったことで、親子連れをはじめ今まで以上に多くの方に来園いただける

包括連携に関する協定

と期待しています。また、SDGsに対する職員の理解を深めるため、包括連携協定を締結している三井住友海上火災保険株式会社の協力のもと、10月28日と11月9日の2日間、主査職以上の職員を対象にSDGs研修を実施しました。職員のさらなる理解向上と市民や事業者、団体等への普及啓発を推進し、経済・社会・環境が調和した持続可能なまちづくりを進めます。

高齢者福祉

「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づく介護サービスの充実を図るため、認知症高齢者グループホームの整備・運営事業者の公募を行ったところ、「特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎」から応募があり、審査の結果、整備・運営事業者として選定しました。

今後、令和5年からのサービス開始に向け手続きを進めます。

大網駅東土地区画整理事業は、現在、事業完了に向けた換地処分等の事務処理を行っています。換地処分後の清算金事務、地権者からの仮換地指定処分の取り消しを求め行政事件訴訟等が継続中であることを踏まえ、令和4年度まで事業期間を延伸しました。今後は、換地処分や新しい地番への変更、また訴訟等においても遺漏の無いよう対応し、事業の早期完了を目指します。

市街地整備

市内や周辺地域の感染者数などの状況を考慮し、十分な感染防止対策をとれるものから、徐々に再開します。

各種イベントの開催

年明けの恒例行事としては、元旦祭は、不特定多数の参加が避けられないことから、昨年に引き続き開催が見送られることとなりましたが、成人式は、参加を新成人に限定し開催する

とともに、来場できない家族の方々には、式典の様子をオンラインで配信します。また、新春マラソン大会についても、参加者を市内在住・在勤・在学の方に限定し、

開発行為における権限事務の移譲

令和4年4月を目途に進めている開発行為に関する事務の権限移譲については、9月定例県議会で「千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例改正案」が可決されたことにより、都市計画法に基づく開発許可等の権限が本市に移譲されることが正式に決定しました。

本市においても、9月に実施したパブリックコメントの結果を踏まえ、本市の実情に応じた新たな許可基準を追加するなど、市街地調整区域における土地利用の制限を一部緩和する条例案を作成し、今議会に提出しました。新年度から円滑な事務処理ができるよう、準備を進めます。

新型コロナウイルスワクチン接種情報

長期間にわたり感染防止対策にご協力いただきありがとうございます。

国より、2回目の接種から原則として8か月以上経過した方に3回目の追加接種を行う方針が示されたため、現在、接種体制の準備を進めています。

- 追加接種の対象者
1・2回目の接種が完了した、18歳以上の方
- 接種券の発送時期
令和3年11月より、2回目の接種日から原則として8か月以上経過した方に、追加接種（3回目）の接種券付予診票を順次送付しています。
※前回シールだった「接種券」が「予診票」に印刷されています。
- 接種開始時期
2月以降から集団接種を実施していきます。
- 接種会場
保健文化センター・大網白里アリーナ・農村環境改善センターいずみの里・市立大網病院

追加接種（3回目）のお知らせ

- 予約について
追加接種の接種券が届いた方から予約ができるよう調整しています。※窓口での予約はできません。

大網白里市に転入した方へ

本市には、前住所地等で1・2回目の接種を受けた方の接種記録がありませんので、3回目の接種を希望する方は申請が必要です。予防接種済証等・本人確認書類を新型コロナワクチン相談窓口（保健文化センター1階）に持参ください。

- ※ワクチン接種は強制ではなく本人の意思に基づき行うもので、費用は無料です。
- ※基礎疾患のある方は、かかりつけ医等にご相談ください。
- ※国の方針やワクチンの入荷状況等により接種体制が変更となる場合があります。最新の情報は、市ホームページ等でご確認ください。

- 市新型コロナワクチンコールセンター
☎0475(53)3355(土・日・祝日を除く9時～16時30分)
☎健康増進課健康増進班 ☎0475(72)8321

大会規模を縮小して実施する予定です。そのほか、各種イベントについても、感染対策に万全を期した上で再開に向け準備を進めます。